

令和7年度第6回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和7年9月2日（火）13：30～14：10 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、福永副理事長、森下理事、松岡理事、中嶋理事、北村理事
須戸環境科学研究院長、徳満先端工学研究院長、市川人間文化学研究院長、
古株人間看護学研究院長、丸尾環境科学部長、田邊工学部長、
福渡人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、中井事務局次長、
遠山委員、森委員、宮本委員

事務局： 古澤財務課長、寺村経営企画課長、堀口学生・就職支援課長、
川崎教務課長、小椋地域連携・研究支援課長、堀江高専開設準備局次長、
前田総務課長、藤居課長補佐、西岡主事

令和7年度第5回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部
文言修正のうえ承認された。

議 題

審議事項

1 ハラスメントの防止等に関する規程の改正について

前田総務課長より資料に基づき説明があり、一部フロー図の文言修正のうえ承認された。

[主な意見・質疑等]

- ・ハラスメント相談員には研修をされているか。
→今年度当初、新規相談員を対象とした研修を実施した。相談員研修は毎年実施している。
- ・フロー図中「懲戒処分の可能性が考えられる重大な個別案件」という文言があるが、懲戒処分の可能性は人権問題委員会に上げる段階ではわからないのではないか。
→ご意見を踏まえ、「懲戒処分の可能性が考えられる」の部分を削除して修正する。
- ・年間どの程度の相談があるか。
→昨年度の例では12件の相談があり、うち6件が人権問題委員会に上げられた。

報告事項

1 オープンキャンパス来場者の地域別割合について

川崎教務課長より資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・オープンキャンパス来場者の地域別割合について、1日目と2日目で差はなかったのか。
→2日目は県外からの来場者の割合がやや高かったものの、1日目との差は僅少であった。また、2日目の方が割合が高かった地域は京都、大阪、愛知であり、遠方からの来場者が多いということではなかった。

2 各委員会の結果の概要について

- (1) 令和7年度第4回衛生委員会
- (2) 令和7年度第3回人権問題委員会

- (3) 令和7年度第3回国際交流委員会
- (4) 令和7年度第3回入試委員会
- (5) 令和7年度第1回図書情報センター運営委員会

[主な意見・質疑等]

・アメリカへの留学を希望していた学生について、9月時点で渡航できた学生はどの程度か。

→半数の学生が当初の希望通り渡航できている。